

令和4年度 発達障害者圏域支援センター事業 実施状況

圏域	丹後圏域支援センター (福)よさのうみ福祉会 障害者生活支援センター 結	中丹圏域支援センター (福)京都聴覚言語障害者福祉協会 障害者生活支援センター 青空	南丹圏域支援センター (福)花の木 花の木医療福祉センター
センター から一言	行政を含め、各関係機関と顔の見える関係性が構築できています。また、相談者について情報共有しやすい環境です。	中丹圏域障害者自立支援協議会の発達障害部会を通して、発達障害に係る圏域内の課題を抽出し、行政、就労、福祉関係機関より選出された部会員と協議を行い、地域課題の解決にむけ取り組んでいます。	発達障害のある方とそのご家族が、地域の中で安心して、より豊かに生活できるよう支援しています。
圏域の 特性・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内に医療機関が少ない、多圏域の医療機関を利用せざるをえず、受診に対するハードルが高い ・進路等を控えて、特性のある生徒が療育手帳の取得を勧められるなど、発達障害に対する理解がまばら ・相談者本人とあわせて家族に対する支援も必要で、多機関連携を必要とするケースが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の受容は無いが、周囲（家族や就業先）が当事者に対して困り感があり相談されるケースが増加 ・企業側の相談窓口が無い ・就労移行支援事業の資源が少なく、利用希望と支援内容がマッチしない場合がある ・就労スキルを学べる訓練の場と、その後の定着支援を重点を置いた支援の充実が必要 ・教育と福祉の連携について、各機関の役割や支援内容、教育機関が抱えている困難点の共有と課題整理が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校や大学の進路、家族関係、就職に関すること、職場での人間関係等に関する相談があり、20代の相談者が多い ・不安障害、人間関係の悩みなど、精神的な問題に関する相談が多い傾向。新型コロナウイルスの影響で、ストレスや孤独感を感じる人が増加 ・高校進学後に単位取得や進級、友達とのコミュニケーションに悩む生徒について、学校側も対応方法に苦慮している。地域の精神科医療や手帳取得の意味、就労支援機関の利用のしかた等、学校が支援につなげやすい情報を提供していく機会、教育と福祉のネットワーク作りが必要
R4年度 取組内容	<p>【相談実績】 (実支援人数) 21人</p> <p>【協議会、研修等の開催】 丹後圏域自立支援協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・部会員の日常業務の紹介 ・圏域内高等学校との懇談会について検討、実施、振り返り ・発達障害に関する学習会（部会員対象） ・事例検討 </p>	<p>【相談実績】 (実支援人数) 20人 ・企業からの発達障害の疑いがある職員の相談が多い</p> <p>【協議会、研修等の開催】 中丹圏域障害者自立支援協議会発達障害部会 <ul style="list-style-type: none"> ・企業への発達障害の理解啓発を目的に出前講座の実施 ・寄添い機関一覧表の改訂 ・教育機関との連携を目指して課題整理 </p>	<p>【相談実績】 (実支援人数) 27名、(延支援件数) 94件</p> <p>【協議会、研修等の開催】 南丹圏域障害児者総合支援ネットワーク発達障害支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・高校と福祉の懇談会の実施 ・放課後等デイサービス事業所の情報交流会の実施 ・地域学習会「発達障害がある方の就労にむけて」を実施 ・相談機関一覧表を京丹波町の保・幼・小・中・高等学校の各家庭に配布 </p>
R5年度 取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後圏域発達障害部会（部会長）の継続 ・高等学校との連携強化 ・集合研修の実施 ・圏域センターの周知、相談支援機関との連携強化 ・他事業所での事例検討に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域障害者自立支援協議会発達障害部会を通して、各関係機関で圏域内の課題整理、また資源の活用に向けて協議 ・京都府と連携し、関係機関や行政に向けて周知を行いながら、中丹圏域内での発達障害者地域支援マネジャーの体制構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現所の取り組みを継続しながら地域ニーズにあった取り組みを検討する。 ・活動を通して地域のアセスメントを行い、必要な支援を把握してネットワーク作りや課題の解決のきっかけとしていく。

圏域	乙訓圏域支援センター	山城北圏域支援センター	山城南圏域支援センター
	(福) 向陵会 乙訓ひまわり園地域連携室	(福) 南山城学園 地域療育支援センター ういる	(福) 京都ライフサポート協会 しょうがい者生活支援センター 「あん」
センター から一言	地域に根ざし、圏域でも顔の見える、顔が分かる相談支援事業所として、他相談支援事業所と連携を図りながら、発達障がい者への伴走型支援を行っています。	ご利用者や関係機関と一緒に丁寧に継続的支援を考えます。 障害者就労・生活支援センターや若者サポートステーション、地域定着支援センター等、法人メリットを活かした、幅広い課題への対応に努めます。	発達障害児者とその家族がライフステージで切れ目のない支援を受けながら地域で生き生きと生活していくため、関係機関と連携しながら支援体制づくりを目指します。
圏域の 特性・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童通所事業所がここ数年で飛躍的に増加 ・市町では計画相談の100%達成を目標とし、相談支援事業所が不足する状況の中、各事業所から発達に課題のあるケースの相談が寄せられる ・発達障害（特に子ども）を支える医療機関が少ない。 ・スクリーニング等で保健師から療育を勧められるものの、療育の利用に必要な計画の供給が厳しい状況で待機をお願いするケースもある ・就労支援は、発達障害についての社会的認知が進み、障害受容、課題解決への見通しが立っている方が多い ・地域の高校における課題は把握出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域人口が多い（約44万人）、各市町によって人口の偏りがあり、福祉サービス等資源の差も大きい ・相談件数は増加傾向 ・当事者会や保護者の集いに関する希望があるが、実施先が無い ・放課後等デイサービスが80箇所近くあり、児童・生徒を対象とした資源は多いが、グレーゾーンと言われるお子さんや中高生の居場所としてフィットする場所が少ない ・行政や就労支援先等がそれぞれ独立して支援や取組を行っている状況があり、情報共有や共同での取組が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域支援センターが「発達障害」に関わる身近な相談窓口として周知され、圏域内での相談支援事業所との役割整理が進められ、相談者自身がニーズに合った事業所を選択されている。 ・不登校・ひきこもりの状態にある当事者が増加し、家族支援が課題 ・医療機関の不足、当事者会や親の会の不足が課題 ・本人の居場所や、ペアトレ・SST等の学びの機会の不足が課題
R4年度 取組内容	<p>【相談実績】 (実支援人数) 52人 (延支援件数) 92件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達相談は利用できる制度やサービス、進路等に関する内容が多い ・就労相談は今後の就労や、コロナ禍における休職等に伴う内容が多い <p>【協議会、研修等の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回 子育て応援カフェの実施 ・乙訓地域特別支援連携協議会の参加 ・乙訓保健所との課題の共有と連携 	<p>【相談実績】 (実支援人数) 101人 (延相談件数) 1,021件</p> <p>【協議会、研修等の開催】</p> <p>山城北圏域障害者自立支援協議会（教育と福祉の連携ルールの周知活動・SSW学習会・交流会（教育・福祉関係者））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そらいろプロジェクトの推進 ・家族交流会（保護者11名参加。ペアレントメンター派遣） ・居宅介護事業所スタッフ向けの研修実施 	<p>【相談実績】 (実支援人数) 67名</p> <p>【協議会、研修会の開催】</p> <p>山城南圏域障害者自立支援協議会 発達支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城南圏域発達障害児者支援に関する座談会 ・ペアレントトレーニング体験保護者交流会 ・山城南圏域発達障害児者等就労支援研修会 ・支援ファイル配布（構成機関、児童・相談関係事業所）
R5年度 取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査が可能な地域の診療所の紹介 ・当事者からの定期相談や、家族対応、企業からの相談対応 ・研修会の開催（オンライン開催も視野） ・月1回の子育て応援カフェの実施 ・乙訓地域特別支援連携協議会の参加 ・今後、強度行動障がい児者に対する地域資源の開発や、人材育成にも注力できたらと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者・家族からの相談対応、医療機関や福祉サービス等の情報提供 ・発達部会の運営事務局、学習会の実施（保護者支援について） ・圏域内福祉サービス提供事業所及び、相談支援事業所への助言、コンサル ・各市町発達障害直接相談対応の検討、及び各市町地域診断ツールの実施に向けた調整（京都府と要相談） 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者・家族からの相談対応、市町村窓口や相談支援事業所を紹介 ・市町村支援 ・事業所支援（困難ケース対応／研修会の開催） ・山城南圏域障害者自立支援協議会 発達支援部会の活動推進